

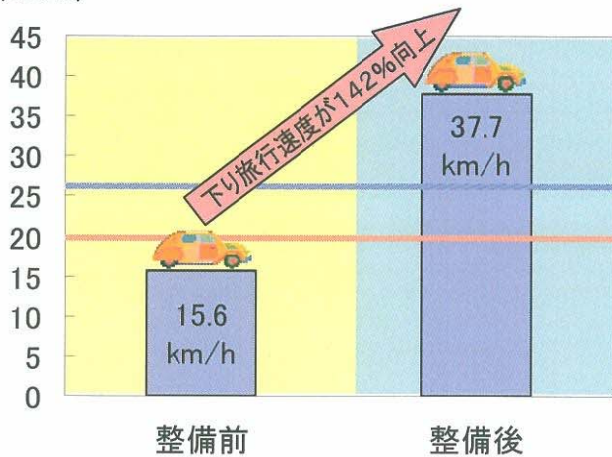
6. 道路整備の効果

(1) 交通の円滑化

① 交通混雑の緩和

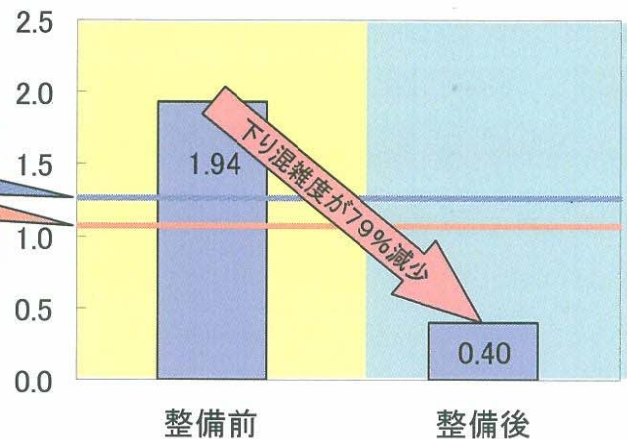
本事業の実施により、ボトルネックの解消を図り、円滑な交通流動が確保され、混雑度の緩和および旅行速度の向上が確保されます。

(km/h)



整備前: H14.11.26(火)実測調査
整備後: 推計交通量を用いた計算値

図 旅行速度の比較



整備前: H11道路交通センサス
(下り混雑度) H11道路交通センサスの交通容量
算出方法を参考に算出
整備後: 推計交通量を用いた計算値

図 混雑度の比較



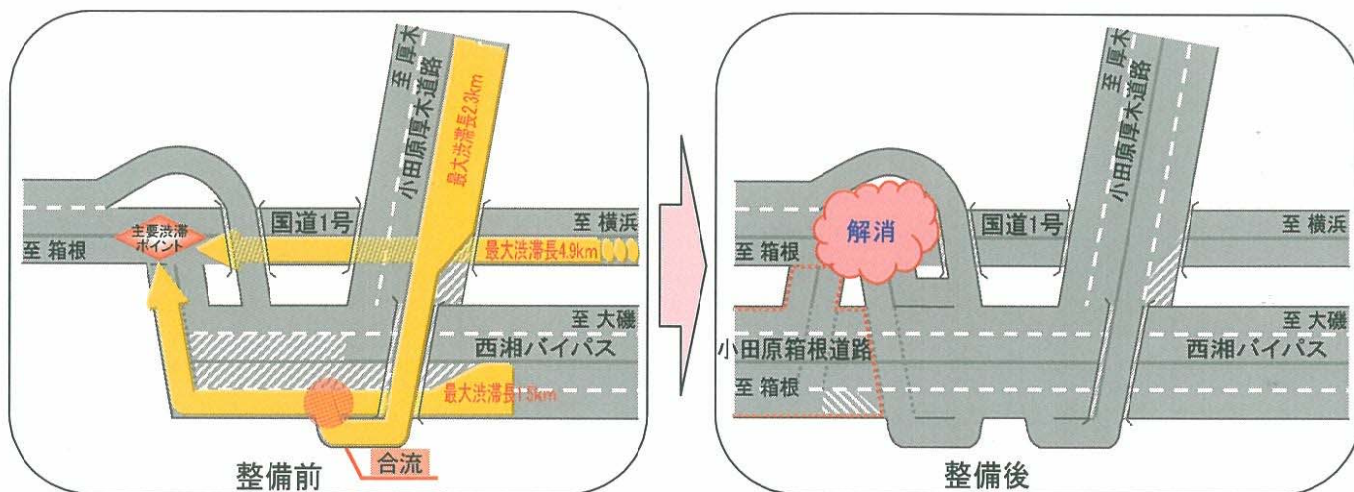
図 混雑度、旅行速度予測地点位置



図 下り車線の交通状況

② 主要渋滞ポイントの解消

主要渋滞ポイントの解消により、旅行時間の短縮や定時性が確保され、主要幹線道路としての機能向上が図られます。



図〈主要渋滞ポイント〉風祭交差点の休日の渋滞状況の比較

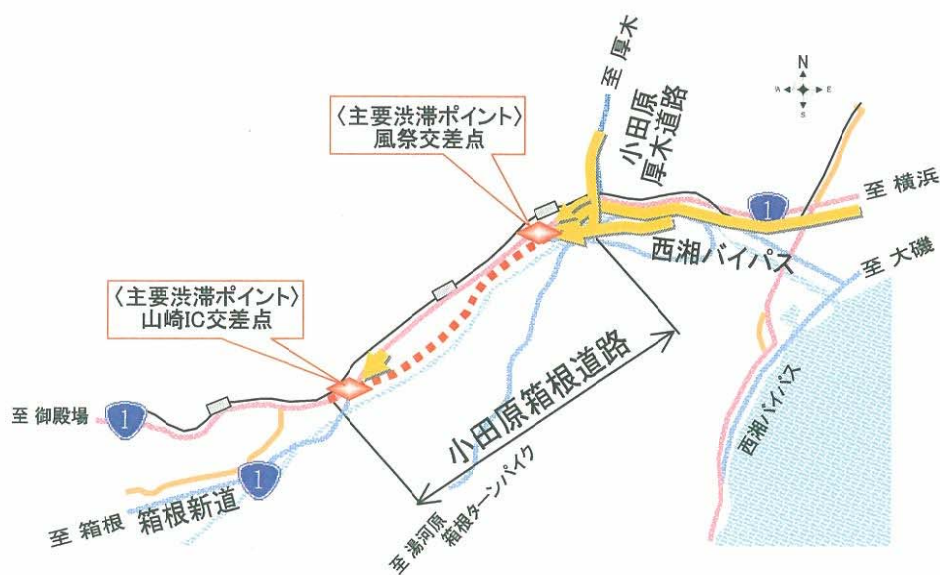


図 整備前の渋滞状況

(2) 安全で快適な歩道空間の確保

小田原箱根道路の整備により、並行する国道1号（現道）では、バイパスに交通が転換することで混雑が緩和され、さらに、現道の両側に歩道を確保し、電線類が地中化されることにより、まちなみ景観に配慮したみちづくりがなされ、東海道の歴史的資源を活かした魅力的な道路環境の整備に寄与し、歩行者の安全性・快適性が向上します。



図 現況の歩道整備状況

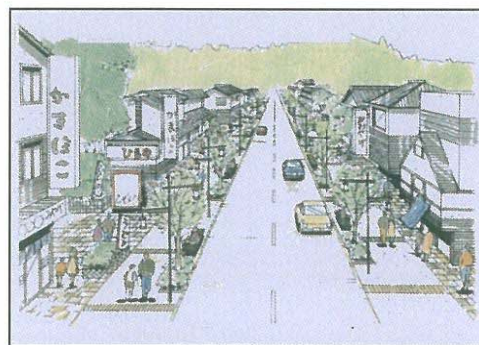


図 供用後の歩道整備イメージ

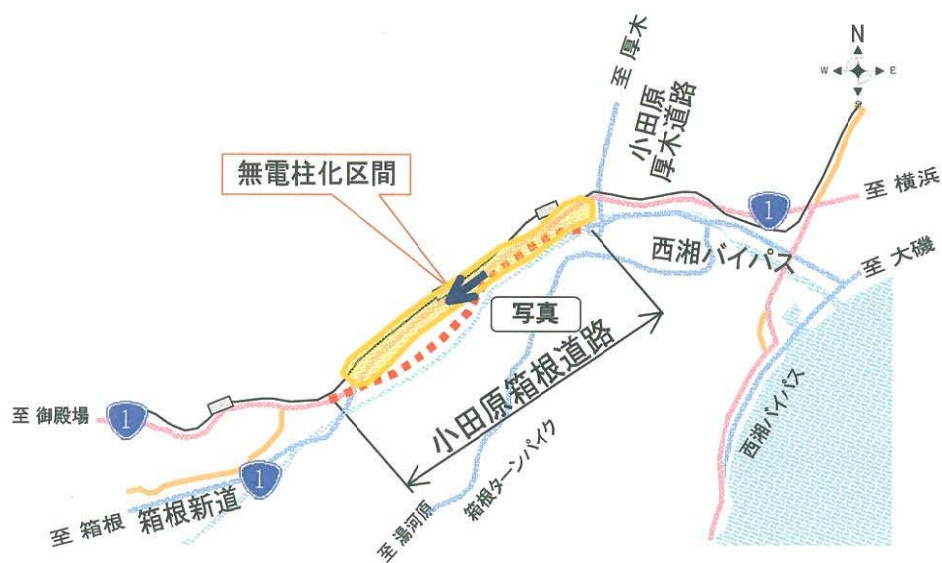


図 無電柱化区間位置

(3) 沿道環境の改善

対象区間における国道1号は、西湘バイパス、小田原厚木道路、箱根新道からの交通が集中し、交通量が多いことから騒音が環境基準を超過している状況です。

本事業の実施により、国道1号の通過交通を中心とした交通の減少と低騒音舗装の使用により沿道環境の改善が図られます。

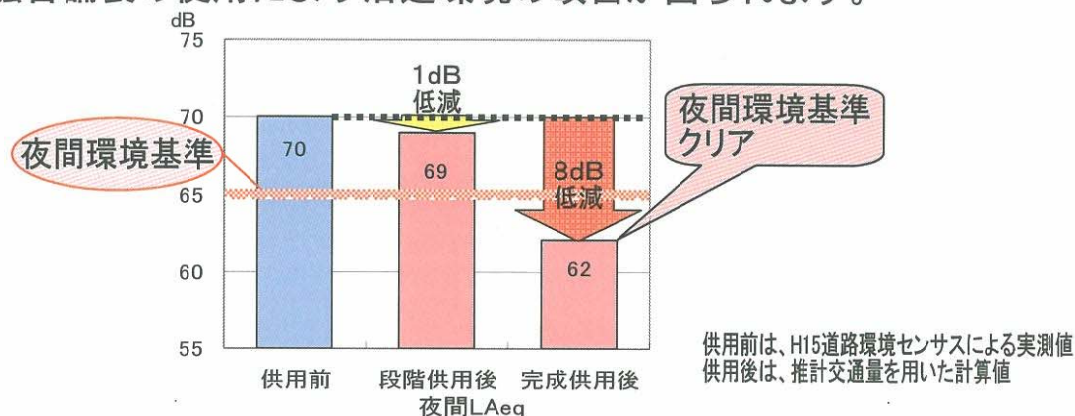
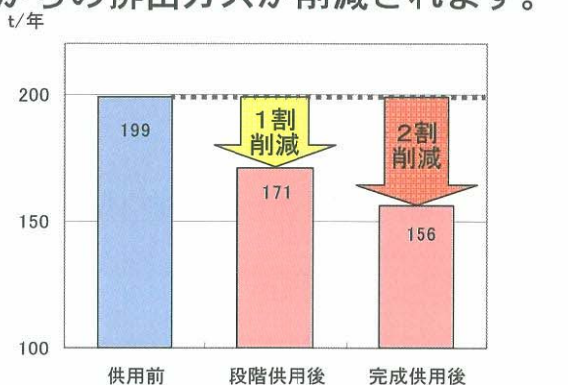


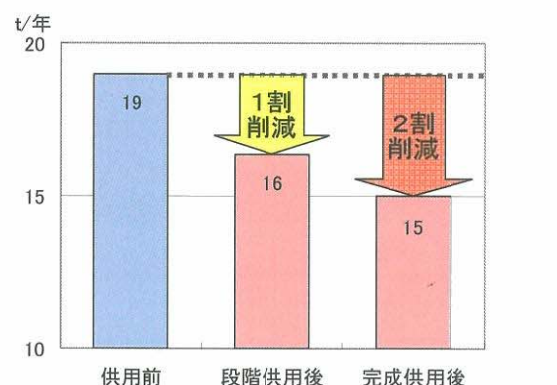
図 騒音値(小田原市入生田)の比較

また、本事業の実施により、ボトルネックが解消し、旅行速度の向上が図られ、本事業区間および並行する国道1号(現道)では、自動車からの排出ガスが削減されます。



※渋滞長5kmを含む範囲を対象
※範囲の区分けは、B/C算出の際用いた区分とした
※小型車、大型車別の排出原単位を用いて算出

図 NO2の排出量の比較



※渋滞長5kmを含む範囲を対象
※範囲の区分けは、B/C算出の際用いた区分とした
※小型車、大型車別の排出原単位を用いて算出

図 SPMの排出量の比較

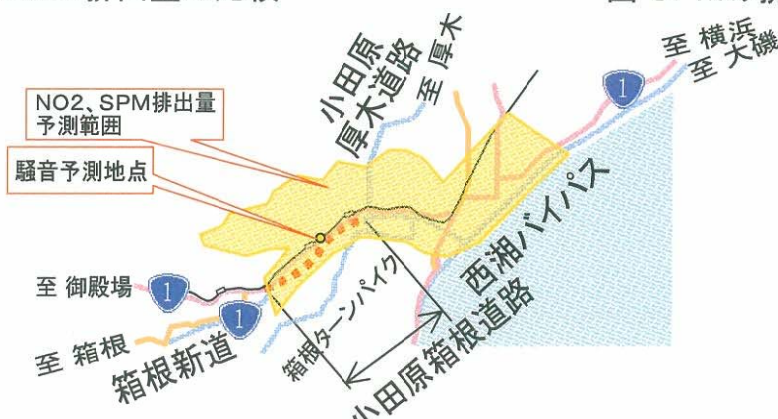


図 騒音値、NO2・SPM排出量予測位置